

働く男のライフスタイル情報紙

# Biz Life Style [ ビズスタ ]

2019 11

特別版

『BizLifeStyle』は東京、名古屋、関西、京都、仙台、福岡、広島にて55.4万部発行  
下記URLまでアクセスを。

[www.biz-s.jp](http://www.biz-s.jp)

広告掲載に関するお問い合わせ・申し込みは  
TEL.03-6854-7001 FAX.03-6854-7005

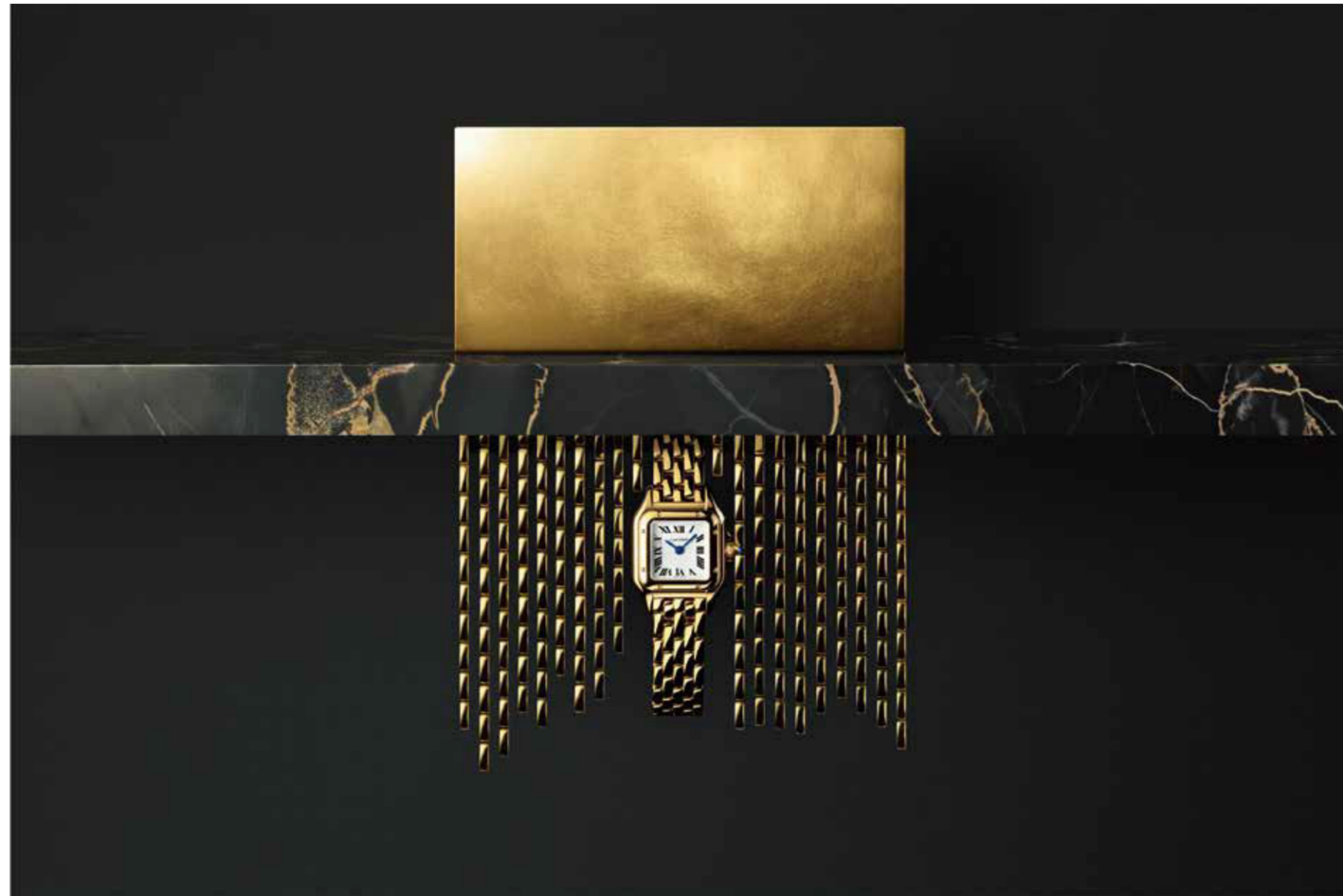
企画・制作 / 株式会社デイリースポーツ案内広告社  
〒110-0015 東京都台東区東上野4-8-1 TIXTOWER UENO 14F  
© 2019 DAILY ADVERTISING AGENCY CO.,LTD



## THE BAIGNOIRE, A SIGNATURE WATCH

ベニユワール。美のメゾンから、エスプリが息づくタイムピース。

My Favorite Life Style



### 2つの伝説的レディースウォッチがそれぞれ新作コレクションを発表

1847年、腕利きの宝石細工師だったルイ・フランソワ・カルティエがパリの街角に構えた工房で歴史の幕を開けた。カルティエは、当時も王侯貴族や社交界で輝くセレブリティたちから絶大な信頼を勝ち得るハイジュエリーメゾン。実に160年を超えるその「美」の足跡は、常に時代を先取るハイオナー精神に満ちたストーリーに彩られています。

女性たちが腰を締めつけるコルセットから本格的に解放され始め、アールヌーヴォー、アールデコへと移る芸術性の成熟に建築界や工業デザイン界が沸いた。19世紀末から20世紀初頭のヨーロッパ。至高とも言えるジュエリーの発表を重ねながら人々の美意識を育て、やがて訪れる女性の時代をも先導したカルティエは、実は時を同じくしてさまざまな業界で新風を吹き込んでいました。

分野は多岐にわたり、その代表が「ウォッチ」でした。時を知らせる機械だった腕時計を、オーナーの自己表現の場へと変貌させてきました。

#### 「度見たら忘れない橋田の美伝説のコレクション」が突如復活

著名な飛行家からパイロット中に操縦棒から手を離さずに時刻を確認したい」という相談を受け、懐中時計を腕に巻くスタイルを着想した3代目ルイ・カルティエは、1904年に伝説の「サ

ケースに施すというチャレコレクションを試み、カルティエらしさを存分に発揮するコレクションとなりました。

新作「ハニワール」を手にする。と、今日目で見て「最先端ではないか」と思えるほどの先進性に感嘆させられます。その基本デザインが百年以上も前に生まれたもの。この「度」も現代まで生き続けるスクエアクォーツの究極「サントス」ほぼ同時代に作られたという事実には、ただただ驚きを隠せません。

#### 「パンテールドゥ・カルティエ」はコレクションがさらに幅広く

「度」の「度」も世界中の耳目を一身に集めているのが、カルティエのアイコンである「パンテールドゥ・カルティエ」です。1908年に世を風靡した名作で、2017年に新作コレクションを発表。全世界の女性から喝采を浴びましたが、中でも日本の女

ントスを制作。実用性と美観を兼ね備えた「腕時計」という新たなジャンルを開拓したメソンのカルティエは、その発想の翼をレディースウォッチの世界へと広げます。

現代アートを思わせる見事な橋田形のデザインを実現した「ハニワール」は、1912年に誕生しました。西洋浴槽を意味するネーミングは、マリ・アパヴェロナ公爵夫人が名付けたものとされています。フェミニンな世界観を描き切った大胆かつ上品なラウン・トゥ・フォルムは、当時の高感度な女性たちのアンテナをおおいに刺激。時代の流行にとらわれ過ぎず、自由と通脱さを楽しむ彼女たちのライフスタイルを表現するアイデアとして、世界中を魅了しました。「一度見たら忘れないオーバル」は、カルティエのアイコンのひとつへと昇華。世の女性たちが憧れのウォッチとして、その後も発展を続けることになりました。

今年の新作コレクションは、防水性など腕時計としての機能は現代の基準にアップデートしつつ、伝説のデザインがより洗練され、大きな話題となりました。また、「さらにもレジェンダリー」は1960年代の派生モデル「ベニワール」の新作まで登場。穏やかでクラシカルなベニワールと、尖った個性が美しいアロシエの新作が揃ったという驚きの光景に加え、カルティエジュエリーの特徴的な装飾のひとつである「クルドゥ・パリ」を時計の

性たちからは大きな反響を呼んでいます。

「パンテールドゥ・カルティエ」の特徴は、もはやウォッチというよりもジュエリーであると感じるほど優雅な着け心地。腕に巻いた時の気品は圧巻で、フォーマルだけでなくカジュアルにも映えるワイルドなレジン素材の新コレクションでは、滑らかなプレスレット部をポリウム感を加えたカフウォッチや、他のアイテムとの重ね着けも楽しそうなるミニウォッチまで登場。後者には「サントス」モデルも加わるなど、コレクションの幅が広がりました。

カルティエのレディースウォッチには、さまざまな女性像が映じ出されています。レ・パ・デ・清純に、知的でクリエティブに、インディビジュアルに、センシティブに……多様な「自分を試したくなる」現代のマスターピースたち。実際に手に取っていただくまで。



パンテールドゥ・カルティエ CRWJPN0020 Mini (25×21mm) ピンクゴールド、ダイヤモンド 2,943,600円(税込)



パンテールドゥ・カルティエ CRWJPN0019 Mini (25×21mm) ホワイトゴールド、ダイヤモンド 3,168,000円(税込)



パンテールドゥ・カルティエ CRWGP0008 SM (30×22mm) イエローゴールド 2,244,000円(税込)



パンテールドゥ・カルティエ CRW3PN0006 SM (30×22mm) ピンクゴールド、スティール、ダイヤモンド 1,254,000円(税込)



ベニワール アロンジエ CRWJBA0007 MM (47×21mm) ホワイトゴールド、ダイヤモンド 4,818,000円(税込)



ベニワール アロンジエ CRWGBA0010 XL (52×23mm) ピンクゴールド 3,841,200円(税込)



ベニワール CRWJBA0015 SM (32×26mm) ホワイトゴールド、ダイヤモンド 3,630,000円(税込)



ベニワール CRWGBA0007 SM (32×26mm) イエローゴールド 1,280,400円(税込)

My Favorite Life Style



サントス デュモン  
CRW2SA0012  
SM(38×27.5mm)  
ピンクゴールド、スチール  
577,500円(税込)



サントス デュモン  
CRWSSA0023  
SM(38×27.5mm)  
スチール  
407,000円(税込)



『サントスドゥカルティエ』は、まさにウオッチメゾンとしての『カルティエ』の原点ですが、その革新性はオリジナルの誕生から115年を経た今も揺らぎません。「時の試練」を超越する普遍性は、『ヘニウォール』や『パンテールドゥカルティエ』にも共通するカルティエの真髄といえるでしょう。

『サントスドゥカルティエ』は、もはや人類の遺産とも言うべきマイルストーンですが、進化した新作コレクションを発表。最新作では、開発の契機を与えたブラジル人飛行家への敬意が強く込められた『サントスデュモン』が登場。約6年間の連続作動能力を誇るクォーツムーブメントの採用にも注目を。誕生の経緯から、常に実用性が主題のひとつとなってきたサントスだけに、従来の倍にあたるという能力向上は特筆すべき進化といえます。



サントスドゥ カルティエ クロノグラフ  
CRWSSA0017  
XL(51.3×43.3mm)  
スチール、ADLC  
1,003,200円(税込)



サントスドゥ カルティエ クロノグラフ  
CRWGSA0017  
XL(51.3×43.3mm)  
ピンクゴールド  
2,904,000円(税込)

Maud Remy-Lonvis © Cartier Laziz Hamani © Cartier Vincent Wulveryck © Cartier 掲載した商品の価格は令和元年10月20日時点のものです。価格や仕様は予告なしに変わることがございます。

Biz Life Style Pick up >>>

新たな時代へと進む、カルティエの美。  
最新コレクションの実際は、九州を代表する時計の名店で。



日本で初めてアーケード式を導入したことで知られる北九州市の代表的な商店街、「魚町銀天街」の一角。まもなく90周年を迎えようとしている老舗「小林時計店」は、九州を代表する時計貴金属専門店のひとつとして、多くの顧客に支持されてきた名店だ。昨年には大分市内に新店舗をオープンし、時計ファンの間で大きな反響を呼んだことは記憶にも新しい。

『小林時計店』の長年の歴史で培われたカルティエとの絆は、その信頼に裏打ちされたコレクションからも感じることが出来る。本紙掲載のピースをはじめとする豊富なラインナップで、メソンの伝統と革新をぜひ店頭のお手に取ってお確かめください。



取り扱いブランド

カルティエ、ピアジェ、オメガ、ブライトリング、タグ・ホイヤー、ボーム&メルシエ など

KOBAYASHI JEWEL&WATCH

小林時計店  
北九州市小倉北区魚町1-3-6  
TEL.093-521-0013  
営業時間：10:00～19:30 第3木曜休



<http://kobayashi-tokeiten.com>

カルティエ カスタマー サービスセンター  
フリーダイヤル 0120-301-757  
受付時間 / 10:00～20:00 無休(年末年始を除く)

[www.cartier.jp](http://www.cartier.jp)